

大阪市立

中 浜 小 学 校

郵便番号	536-0024
所在地	城東区中浜2丁目12-35
電話番号	(06) 6961-0703
FAX	(06) 6961-7484
校長名	大石 浩之



【学校の概要】 校区は城東区の南西、大阪城の東に位置し、古くからの街並みが残る落ち着いた地域環境です。児童数181名、学級数10（うち特別支援学級4）、保護者、地域の方々にあたたかく見守られ、創立106年の歴史ある学校です。

【教育目標等】 校訓「たくましい子」のもと、「よく考え自ら学ぶ子どもの育成」「心豊かでやさしい子どもの育成」「健やかでたくましい子どもの育成」をめざし、「体験」と「仲間づくり」を柱に、子どもの主体性を育む教育活動を行っています。

【沿革等】 大正4年6月東成郡中本第三尋常小学校として創立され、昭和22年4月大阪市立中浜小学校と改称し、平成27年に創立100周年を迎えました。

運営に関する計画（中期目標）

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

- 学校生活アンケートの「学校のきまり・規則を守っていますか」について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 学校で認知したいじめについて、解消に向けて対応している割合を100%にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査の正答率において、市平均の70%に満たない児童の割合を減少させる。
- 学校生活アンケートの「歯みがき・手洗いをしっかりし、健康に気をつけている」について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。
- 学校生活アンケートの「運動することが好き」について、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。

全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

【令和元年度調査結果の概要】

国語は大阪市平均並み、算数は全国平均並みの結果となった。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

- 読む力（国語）や計算、量や測定（算数）の領域で大きく全国平均を上回り、習熟度別少人数授業や児童一人一人に応じた指導の工夫によって、基礎学力の定着に成果がみられる。また、無解答率は全国平均と比べて国・算ともに極めて低く、最後まであきらめずに問題に取り組む姿勢が身につけている。
- 児童は授業に前向きに取り組む、わかるようになったことやできるようになったことを実感している。家庭学習、読書、運動などに自ら進んで取り組む態度の育成が学校全体の課題であることから、宿題以外にも習ったことを復習して確認したり、わからないことを自分で調べたり、苦手なことに取り組んでみるなど、帰宅後や休日に進んで学習する習慣を身に付けさせることができる指導の工夫に取り組んでいる。学校生活アンケートの「興味のある学習について進んで調べるようになってきた」「家で宿題以外に自分で学習するようになってきた」について、肯定的回答の割合が増加し、主体的に学習する態度が身につくにつれ、

全国体力・運動能力、運動習慣調査等の結果から明らかになった現状

【令和元年度調査結果の概要】

男女ともに、反復横とび、立ち幅とびは大阪市平均並み、20mシャトルランは大阪市平均を下回ったが、その他の種目は全国平均を上回り、前年度までと比較して大きく改善する結果となった。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

【これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題】

子どもたちが互いに関わり合いながら運動が好きになるよう発達段階に応じた授業づくりの工夫や年間を通じて学校全体での体力作りに取り組んでいる。特に男子は、全ての児童が運動やスポーツをすることが好き、体育の授業は楽しいと回答し、取組の成果が顕著に表れている。

授業の他にも、たてわり班活動で運動を取り入れたゲームを行ったり、学期ごとに全校でスポーツを行ったりする取組を継続して行っており、学校全体でも、運動に苦手意識を持つ児童の割合は減少している。今後も、児童一人一人ががんばり目標を持ち、バランスのとれた運動能力を育成するよう、取組の工夫を継続していく。

学校のアピールポイント等



〇たてわり班活動で育む主体性、社会性

本校では、異学年の児童でたてわり班を構成し、異年齢集団の活動に力を入れています。1年生から6年生まで16班の「なかよし班」に分かれ、児童会を中心に、年間を通じて様々な活動を行っています。毎週木曜日の児童集会では、担当委員がいろいろなゲームを企画し、異学年間の交流が深まる取組を進めています。班ごとにみんなが楽しめるゲームのお店を準備・運営する「中浜フレンドリーランド」、大阪城公園でオリエンテーリングを行う「ハッピースマイルウォーク」、1年間、班をまとめ、引っ張ってきた6年生に感謝の気持ちを伝える「はばたき集会」では、すべての子どもたちが役割を分担し、いきいきと取り組んでいます。たてわり班活動を通じて、高学年は、リーダーシップや責任感、問題を解決する力や適切な判断力、年下の子どもたちを思いやる気持ちが育ち、低学年は、上級生をお手本に、一生懸命自分の役割を果たそうとする姿勢を身につけ、みんなで協力して活動することの楽しさや喜びを体験します。



児童集会



ハッピースマイルウォーク

〇できる力を育てるさまざまな取組



日々の学校生活では、子どもたちの意欲を引き出し、できる喜び、やり遂げた達成感を感じながら、大きく成長することを願い、実際に体験することや本物に触れることを大切にしている教育活動を行っています。令和元年度より広島への修学旅行を実施し、平和学習の充実を図っています。

- 〇 個別、ペア、グループなど、効果的な学習形態の活用
- 〇 学習園(菜園)やせせらぎを活用した自然体験の充実
- 〇 社会見学の実施、ゲストティーチャーの招聘
- 〇 外遊びの推進、遊具の充実



〇地域の力に守られて

登下校時の見守り隊、本の読み聞かせや子どもサポートボランティア、はぐくみネットによる子ども支援の取組、盆踊りや祭りの開催、学校行事へのPTAの協力など、地域、保護者のあたたかい支援体制が整っています。



「ありがとう」を伝える会

学校案内図 (14ページも併せてご覧ください)

